

OMRC mail magazine

温泉医科学研究所 HP <http://www.onsen-msrc.com/>

メールマガジン編集担当の主任研究員:後藤康彰です。
このメールは、温泉医科学研究所のメールマガジン登録をいただいた方、
温泉入浴指導員、温泉利用指導者講習会にご参画いただいた方、アンケート、
名刺交換をいただいた皆様にお送りしております。

<目 次>

- 1.【研究情報】 第 65 回日本温泉科学会ポスター賞受賞
液体シンチレーションカウンターと PICO-RAD 検出器を用いた空気中
ラドン分析手法の検討
森康則:三重県保健環境研究所
- 2.【活動報告】 早坂信哉温泉医科学研究所長が日本公衆衛生学会奨励賞を受賞(2)
- 3.【お知らせ】 お待たせしました！温泉利用指導者・温泉入浴指導員の皆さま！
研修会・交流会を開催します！
(日本健康開発財団)
- 4.【コラム】 地球と月の関係を実感。。干潮時だけ姿をあらわす海中温泉を満喫
(水無海浜温泉:函館市)

=====

- 1.【研究情報】 第 65 回日本温泉科学会ポスター賞受賞
液体シンチレーションカウンターと PICO-RAD 検出器を用いた空気中
ラドン分析手法の検討
森康則:三重県保健環境研究所

=====

平成 24 年 9 月に北海道登別市で日本温泉科学会第 65 回大会が行われました。
日本温泉科学会は、1941 年(昭和 16 年)に設立された、歴史のある学会です。

このたび、同大会で発表した「液体シンチレーションカウンターと PICO-RAD 検出器を用いた
空気中ラドン分析手法の検討」により、第 65 回日本温泉科学会大会ポスター賞をいただきました。
本研究は、日本健康開発財団第 38 回(平成 24 年度)研究助成採択研究「放射能泉の利用における
被ばく線量評価のためのラドン分析検討および実態調査」の一環として進められたものです。

放射能泉は、温泉水中に 1kg 中 8.25 マツヘ単位以上のラドンを含む温泉を指します。
浴槽付近の空気中に存在するラドンによる被ばく線量を評価するため、放射線医学総合研究所や
神戸薬科大学の御協力を得ながら、より簡便でより汎用性の高い空気中ラドンの捕集方法や分析
条件を検討し、その妥当性を確認しました。

本研究の成果が健康づくりや地域振興に貢献できるよう、今後は地元の自治体や温泉事業者の
方々と一緒に、実際の放射能泉利用施設での実態調査を進めていきたいと考えております。

三重県にはたくさんの観光資源と温泉があります。
日々の疲れを癒しにぜひ三重県の温泉に足を運んでいただければと思います。

(三重県保健環境研究所 森 康則)

日本温泉科学会 HP: <http://www.j-hss.org/>

=====

2. 【活動報告】 早坂信哉温泉医科学研究所長が日本公衆衛生学会奨励賞を受賞

=====

前回お伝えした通り、早坂信哉温泉医科学研究所長が第71回「日本公衆衛生学会奨励賞」を
受賞しました。受賞研究は「介護における安全な訪問入浴の実施と健康関連因子としての
浴槽入浴習慣に着目した研究」。今回はその研究ポイントをお伝えいたします。

本研究のポイント

1. 特に身体状況の悪い高齢者が入浴介助を必要としており、入浴によって体調不良を
起こしやすい状況であることが分かった。介護サービスでの入浴の提供には留意が
必要であると思われた。

2. 介護サービスの訪問入浴に関連して発生する体調不良では、意識障害が最も多く、その頻度は入浴1万回あたり0.20回であったことが初めて分かった。

3. 一般住民を対象にした入浴関連体調不良等発生頻度は、入浴1万回あたり0.43回であることが初めて分かった。また毎日浴槽入浴している者は主観的健康感や睡眠が良好であったことが分かった。

こうした成果は、入浴を健康づくりに活用する際の重要な知見として役立つものと思われます。

=====

3.【お知らせ】お待たせしました！温泉利用指導者・温泉入浴指導員の皆さま！
研修会・交流会を開催します！

(日本健康開発財団)

=====

この12月、温泉利用指導者・温泉入浴指導員の養成講習会修了者が、あわせて5,000名を突破します。修了者の皆さまからは、

「最新情報を習得するのにフォローアップ研修会を実施してほしい！」

「同じ指導者・指導員のみなさんと交流・情報交換する機会がほしい！」

とのご要望をいただいております。

そこで、初めての試みとして、標記研修会・交流会を湘南江ノ島で開催することとなりました。

開催日程は、平成25年2月21日(木)。研修会は11:00~16:00、交流会は16:00~18:00で、会場は、江の島アイランドスパ(神奈川県藤沢市)等を予定しています。

もちろん当研究所の早坂所長、私も研修会・交流会を担当いたしますので、奮ってご参加ください。

「温泉・入浴を活用した健康づくり」を推進するには、皆さまの活躍が欠かせません。

皆さま同士が情報交換や交流していただくことは、日本の「温泉・入浴文化」の発展にも大きく貢献することと確信しています。

皆さまとの再会を楽しみにしています。

詳細は、12月5日(水)にホームページに掲載いたします。

<http://www.jph-ri.or.jp/>

(後藤康彰)

=====

4.【コラム】地球と月の関係を実感。。干潮時だけ姿をあらわす海中温泉を満喫
(水無海浜温泉:函館市)

=====

「はあ～るばるきたぜ・・」と思わず歌いだしたくなつたのにはわけが。。。
先週末、急きょ函館に用事ができたものの、東京－函館便の往路は満席。
仕方なく東京－新千歳便を手配し、レンタカーを使って4時間のドライブ。

こんなに苦労してタダで帰るわけにはいきません。
行きがけの駄賃よろしく、温泉めぐりに突入しました。

道南は駒ヶ岳の火山活動もあり、知る人ぞ知る温泉の宝庫。
鹿部町の間欠泉も有名ですが、今回目指したのは恵山岬に位置する水無海浜温泉。
干潮時にだけ姿をあらわす海中温泉です。

「この時期、寒くて地元の連中は誰も入らないよ。夏に物好きな観光客がはいるくらいでね？」
とは、昼食を取ったお寿司屋さんの弁。
気温は0℃。さもあるなん・・と思いながら駐車場に車を止め、浜の方に向かっていくと先客2人。
しかも20代のカップルじゃありませんか。
「こんにちは(心の中では、若者よ！エライ！)」
と声をかけ、岩に足をかけたとたんに滑って尻もちを。
面目ない。。
・・岩に張り付いた藻が滑ります。要注意。

潮が引いたばかりなので、湯かげんはぬるめ。
引き潮で取り残されたカニも湯だっていました。
打ったおしりを押さえ抑えながら、月じゃ兎がもちついてんだっけか・・などと思いだしました。
入浴できる時間帯は1日ほぼ2回。
函館市のホームページで、入浴可能時間をチェックすることができます。

水無海浜温泉(函館市)HP:

<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/todohokke/html/mizunasi.htm>

(後藤康彰)



※このメールは、温泉医科学研究所のホームページでメルマガ配信登録をいただいた方、温泉利用指導者・温泉入浴指導員受講者で、メルマガ配信を希望された方、名刺交換をさせていただいた方、アンケートをされた方にお送りしております。

配信がご不要な方は、お手数ですが下記 URL にアクセスしていただき、「メルマガ解除」をお願い申し上げます。

解除 URL: <http://r34.smp.ne.jp/o/Pg/204668/9h4bJ1H7ci0D/out?stop=lg>

■発行: 温泉医科学研究所

<http://www.onsen-msrc.com/>

■編集: 主任研究員 後藤康彰

mailto: ygoto@onsen-msrc.com

(c)Japan Health & Research Institute. All rights reserved